

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月5日

上場会社名 シノブフーズ株式会社
 コード番号 2903 URL <http://www.shinobufoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加藤 健二
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日

上場取引所 大

TEL 06-6474-1116

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	19,095	—	501	—	462	—	370	—
20年3月期第2四半期	17,972	△2.1	451	△29.9	397	△33.6	207	△47.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	22.66	—	—	—
20年3月期第2四半期	12.63	—	—	12.60

(注) 当第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当四半期末にて潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第2四半期	20,077	—	8,973	44.7	—	—	548.49	—
20年3月期	20,814	—	8,684	41.7	—	—	530.78	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 8,973百万円 20年3月期 8,684百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	3.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	36,500	2.2	900	△3.5	850	1.9	620	22.8	37.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

[(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。]

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 17,170,964株 20年3月期 17,170,964株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 810,315株 20年3月期 810,005株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 16,360,728株 20年3月期第2四半期 16,415,089株

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に起因する金融リスクの高まりや、原油高、原材料高などで景気の減速感が強まりました。

食品業界におきましても、食品偽装問題などで「食の安全」への信頼が揺らぐなか、食の安全性や衛生面に対する要請が一層高まるとともに、食材や包装資材などのコストの上昇や、環境問題への対応など、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

また、本年9月、当社製品の一部に「事故米（もち米）」が混入していたとの問題が発生いたしました。当社といたしましては、事態を重く受け止め、再発防止に向け、原料米検査と管理体制の強化に取り組みました。

このように、当社グループは「食の安全、安心」に対する取組みに注力するとともに、消費者ニーズに対応した商品の開発、徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。グループ一丸となったこれらの取組みが、いくつかの新商品開発において結実し、ご好評をいただいております。

この結果、当第2四半期の連結売上高は、190億9千5百万円となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は5億1百万円、経常利益は4億6千2百万円、四半期純利益は3億7千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の財政状態につきましては、総資産は、投資不動産の売却を主因に前連結会計年度末と比較して7億3千7百万円減少し、200億7千7百万円となりました。また、純資産は、当期純利益3億7千万円を計上する一方で、配当金の支払8千1百万円等により前連結会計年度末と比較して2億8千9百万円の増加し、89億7千3百万円となりました。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、8億1千2百万円の収入となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益6億3千6百万円および減価償却費3億4千5百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億4千2百万円の収入となりました。これは、主として投資不動産の売却5億4千3百万円の収入によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億2千4百万円の支出となりました。これは、主として借入れの減少によるものであります。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、19億4千9百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、上述のとおり引き続き厳しい経営環境下にありますが、売上高は365億円(対前期増減率2.2%増)、営業利益9億円(対前期増減率3.5%減)、経常利益8億5千万円(対前期増減率1.9%増)、当期純利益6億2千万円(対前期増減率22.8%増)を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等および繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限る方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成19年3月14日企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については評価額の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,949	1,919
売掛金	3,516	3,552
商品	3	3
製品	20	20
原材料	179	171
その他	629	631
貸倒引当金	△12	△16
流動資産合計	6,286	6,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,632	3,707
土地	6,342	6,342
その他	1,309	1,351
有形固定資産合計	11,285	11,401
無形固定資産合計	99	88
投資その他の資産		
投資不動産	784	1,123
その他	1,701	1,961
貸倒引当金	△79	△44
投資その他の資産合計	2,405	3,040
固定資産合計	13,790	14,531
資産合計	20,077	20,814
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,639	2,494
短期借入金	3,476	3,736
未払金	1,361	1,354
未払法人税等	125	45
賞与引当金	248	242
その他	190	268
流動負債合計	8,042	8,140
固定負債		
長期借入金	2,261	3,144
退職給付引当金	304	309
役員退職慰労引当金	417	423
その他	78	113
固定負債合計	3,061	3,990
負債合計	11,103	12,130

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	4,213	4,213
利益剰余金	161	△127
自己株式	△145	△145
株主資本合計	8,923	8,634
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	50	49
評価・換算差額等合計	50	49
純資産合計	8,973	8,684
負債純資産合計	20,077	20,814

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	19,095
売上原価	15,049
売上総利益	4,046
販売費及び一般管理費	3,544
営業利益	501
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	3
受取賃貸料	97
その他	16
営業外収益合計	117
営業外費用	
支払利息	56
不動産賃貸原価	98
その他	2
営業外費用合計	156
経常利益	462
特別利益	
固定資産売却益	207
特別利益合計	207
特別損失	
貸倒引当金繰入額	33
その他	0
特別損失合計	34
税金等調整前四半期純利益	636
法人税、住民税及び事業税	106
法人税等調整額	159
法人税等合計	265
四半期純利益	370

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	9,683
売上原価	7,654
売上総利益	2,028
販売費及び一般管理費	1,785
営業利益	242
営業外収益	
受取利息	0
受取賃貸料	48
その他	10
営業外収益合計	58
営業外費用	
支払利息	27
不動産賃貸原価	48
その他	0
営業外費用合計	76
経常利益	224
特別利益	
固定資産売却益	207
特別利益合計	207
特別損失	
貸倒引当金繰入額	33
その他	0
特別損失合計	34
税金等調整前四半期純利益	398
法人税、住民税及び事業税	96
法人税等調整額	74
法人税等合計	170
四半期純利益	227

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	636
減価償却費	345
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	56
固定資産売却損益 (△は益)	△207
売上債権の増減額 (△は増加)	35
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7
仕入債務の増減額 (△は減少)	145
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75
その他の資産の増減額 (△は増加)	△16
その他の負債の増減額 (△は減少)	△45
小計	889
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△56
法人税等の支払額	△24
営業活動によるキャッシュ・フロー	812
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△199
無形固定資産の取得による支出	△19
投資有価証券の取得による支出	△0
投資有価証券の売却による収入	0
投資不動産の売却による収入	543
貸付けによる支出	△0
貸付金の回収による収入	0
その他の収入	124
その他の支出	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	442
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,200
短期借入金の返済による支出	△1,550
長期借入れによる収入	300
長期借入金の返済による支出	△1,093
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	30
現金及び現金同等物の期首残高	1,919
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,949

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
該当事項はありません。

「参考」

前中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額	百分比
		%
I 売上高	17,972	100.0
II 売上原価	14,077	78.3
売上総利益	3,894	21.7
III 販売費及び一般管理費	3,443	19.2
営業利益	451	2.5
IV 営業外収益	122	0.7
1 受取利息	0	
2 受取配当金	1	
3 受取賃貸料	96	
4 その他	25	
V 営業外費用	177	1.0
1 支払利息	66	
2 賃貸物件関連費用	108	
3 その他	2	
経常利益	397	2.2
VI 特別損失	399	2.2
1 役員退職慰労金	0	
2 過年度役員退職慰労引当金繰入額	399	
税金等調整前中間純損失(△)	△ 2	0.0
法人税、住民税及び事業税	14	0.1
法人税等調整額	△ 223	△ 1.3
中間純利益	207	1.2

前中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間
		自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日
		金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前中間純損失(△)		△2
2 減価償却費		388
3 貸倒引当金の増加額		0
4 賞与引当金の増加額		2
5 退職給付引当金の減少額		△3
6 役員退職慰労引当金の増加額		411
7 受取利息及び受取配当金		△1
8 支払利息		66
9 売上債権の増加額		△68
10 たな卸資産の減少額		7
11 仕入債務の増加額		120
12 その他の資産の増加額		△126
13 その他の負債の増加額		0
小計		792
14 利息及び配当金の受取額		1
15 利息の支払額		△65
16 法人税等の還付額(支払：△)		△36
営業活動によるキャッシュ・フロー		691
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出		△301
2 無形固定資産の取得による支出		△14
3 投資有価証券の取得による支出		0
4 長期貸付による支出		△3
5 その他の投資等による支出		△4
投資活動によるキャッシュ・フロー		△324
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入れによる収入		2,300
2 短期借入金の返済による支出		△1,700
3 長期借入金の返済による支出		△543
4 自己株式の取得及び売却による収支(支出：△)		△1
5 配当金の支払額		△82
財務活動によるキャッシュ・フロー		△27
IV. 現金及び現金同等物の増加額		340
V 現金及び現金同等物の期首残高		2,360
VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		2,700